

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民文化ホール	所管課	観光文化部 文化振興・文化財課
所在地	甲府市寿町26-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
管理方式	アドブレーション・共立・NTT-F共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する事を目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	<p>○敷地面積 約21,635㎡ ○建築面積 約9,259㎡ ○建築延床面積 約20,018㎡ ○建物の構造 地上4階、地下1階、塔屋1階、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り</p> <p>○施設の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール(客席、ホワイエ含む) 約3,594㎡ 定員:1,989人 ・小ホール(客席、ホワイエ含む) 約1,725㎡ 定員:700人 ・練習室、リハーサル室、楽屋、会議室 約1,455㎡ ・県民ロビー 約179㎡ ・事務室、機械室、倉庫等 約12,977㎡ ・駐車場 約5,614㎡ ・レストラン(客席、厨房) 約237㎡ 定員:約100人 		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 甲府市総合市民会館(アリーナ形式) 大ホール(2,000人)、小ホール(500人) (2) 河口湖ステラシアター(野外施設) 大ホール(3,000人)、小ホール(240人) (3) 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	入館者数	305,305	329,256	259,479	
	事業参加者数	51,711	42,477	32,817	
	利用者数合計	357,016	371,733	292,296	
	目標値	355,000	360,000	358,400	364,600
	目標値設定の考え方及びその理由	平成29年度の実績を基に、令和元年度以降の4年の目標値を設定			
対平成29年度比		104.1%	81.9%	102.1%	
利用率	71.0%	73.3%	68.8%	70.0%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	124,283,535	120,259,000	102,271,140	122,748,000
	指定管理者委託料	161,713,000	161,416,000	165,581,490	161,779,000
	その他	54,112,141	51,771,000	66,263,713	52,394,000
	収入合計(A)	340,108,676	333,446,000	334,116,343	336,921,000
支出	人件費	104,029,920	102,252,000	102,246,360	103,190,000
	県への納付金				
	管理運営費	237,663,980	231,194,000	239,150,265	233,731,000
	うち外部委託費(B)	87,052,428	91,575,000	91,573,080	92,416,000
	支出合計(C)	341,693,900	333,446,000	341,396,625	336,921,000
収支差額(A-C)		△ 1,585,224		△ 7,280,282	
外部委託比率(B÷C)		25.5%	27.5%	26.8%	27.4%
利用者一人当たりの経費		435.0		566.5	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成31年4月～令和2年3月 実施方法:貸館利用者へのアンケート 回答数:725人(回収率:85.9%)
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の充実度	92.5%	6.6%	0.9%	
②音響照明設備	92.6%	6.7%	0.7%	
③通路やロビー	91.4%	7.5%	1.0%	0.1%
④窓口	94.1%	5.9%		
⑤サービス内容	93.2%	6.8%		
施設全般の満足度	93.0%	6.5%	0.5%	

利用者の意見	①全体的に老朽化が目立っている。県の顔であるホールなので是非、メンテナンスをお願いしたい(特に楽屋の壁の汚れ、カーペットの痛み)。また、照明が暗い(ロビー、ホワイエなど)。 ②楽屋溜まりのトイレの洋式化をお願いしたい。 ③会議室の折り畳み椅子が重くて、レイアウト変更の際は大変。 ④施設内が暑い(寒い)。
利用者の意見への対応	①文化ホール長寿命化計画に基づき対応している。(60万円以上は県へ依頼、以下は共同事業体で対応している)緊急性の高いものからの対応となるので、限られた予算下において、利用者の要望になるべく応えられるよう、県と緊密に連絡を取り合いながら効果的なメンテナンスに努めている。 ②今年度洋式化工事終了(2月)。 ③高齢者でも持ち運びが可能な軽い椅子へ変更(3月)。 ④大小ホール、県民ロビーに関して、2台ある冷温水発生機の更新を1台はH30年度に実施、残り1台をR3年度に実施予定である。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に業務を遂行した。</p> <p>施設面では多くの部位で劣化が確認される。県の長寿命化計画に従い、日常点検、長寿命化点検等を実施し、不具合は可能な限り小修繕で対応するなど建物、設備の長寿命化に寄与した。また、改修工事に際しては極力催しに影響が無いよう、スケジュール調整を図り、円滑な施工ができるよう努めた。</p> <p>光熱水費は、消費税が10%になるのに伴い、上昇は避けられない状況ではあったがコロナ禍の催しの中止等の影響もあり前年度を下回った。</p> <p>引き続き、施設運営面での工夫を行い、コスト意識を高める。</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全に関する業務に係る計画書に従い、施設の維持管理業務は適切に実施された。</p> <p>施設の老朽化に伴う修繕に関しては、施設機能を効率的に維持し、円滑に安定したサービスが提供できるよう、優先順位を付けた計画的な修繕提案を行い、予防保全も含めた中長期的視点にたった積極的な維持管理業務を展開していることは評価できる。</p> <p>引き続き、日頃より適切な点検を実施することにより、利用者が安全、安心、快適に施設を利用することができるよう、施設の維持管理に努めること。</p>
運営業務	<p>県内在住のアーティストや過去に実施した事業の出演者・ワークショップ受講者と連携し、事業予算の効率化を図り、主催事業の充実、活性化を行った。</p> <p>また、主催事業を集客型から参加型に重点を移すことで、文化活動への参加の機会の提供を積極的に行った。</p> <p>利用者、利用団体のために施設の利用率割引『だんたん割引』を継続し、割安で施設利用をしていただくことで以降の施設利用を促進した。</p>	<p>利用承認や公演等業務に係る業務計画に従い、積極的な事業が実施された。</p> <p>主催事業では、年齢や障害の有無によらず幅広い県民が、演劇、音楽、ダンスなど様々な舞台芸術を気軽に体感出来る機会を提供するなど、県民の文化活動への参加意欲向上につながる積極的な取り組みを実施していることは評価できる。</p> <p>引き続き、県民ニーズを的確に把握し、本県の文化芸術振興につながる積極的な施設の利用促進を目的とした取り組みの実施に努めること。</p>
利用状況	<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月の中旬から中止する催し物が出始め、さらに2月28日から休館状態となったこと、10月の台風19号の影響などにより、前年度に比べ減少した。</p> <p>稼働率も同様の理由により減少したが、1回の公演で、リハーサルが数日間に渡って行われる催し物が多かったため、利用者数に比べると大きな減少にはならなかった。</p>	<p>年間を通じたコンスタントな利用につなげるための取り組みを積極的に行っていることは評価できる。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルスの影響による利用制限の必要があるなど、大変厳しい状況ではあるが、利用者ニーズの変化に敏感に対応し、「新しい生活様式」に合った新たな取り組みにより、施設の利用促進に、努めること。</p>
収支状況	<p>利用状況と同様の理由により、利用可能日が例年に比べ減少したことにより、大幅な収入源となった。</p> <p>コロナ禍の影響を考慮して県からの指定管理料が増額されたが、それを含めても過去最大の赤字決算となった。</p>	<p>収入は、主催事業収入が増加したものの施設利用料等が伸び悩み、昨年度と比べ減少した。</p> <p>支出は、人件費等固定経費の割合が大きく、節減に努めたが大きな減少とはならなかったため、収支全体では、赤字となった。</p> <p>引き続き、経費節減に努めるとともに、現状をふまえた新しい視点での取り組みなどにより、収入増に努めること。</p>

<p>自主事業</p>	<p>舞台の使い方、運営方法、チケットの販売方法など、利用者が企画の段階で抱く課題や不安を解決するため、『ホールアテンダント』業務をスタートさせた。業務を遂行していく中で、チケット製作・販売、看板製作、ケータリング手配など、利用者が手配できない業務やホールが利用者に代わって請け負った方が利便性が高いとする業務を充実させ、安価に提供した。利用者にとっては、利便性の点から高い評価を得ている。</p>	<p>利用者にとって利便性の高い業務をワンストップで提供している取り組みは評価できる。引き続き、この取り組みが国内外の利用者に広く浸透し、さらなる効果に繋がるよう努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>利用者アンケートを実施し高い評価を頂いた(満足度99.5%)。ホールも築37年となり、経年劣化による不具合が生じてきているが、急な場合にも対応できるよう施設、設備の把握に努める。ソフト面に関しては、「窓口」、「サービス内容」について高い評価(満足・どちらかと言えば満足が100%)を頂いた。今後も利用者から高い評価を頂けるよう、全力で取り組む。</p>	<p>施設全体の満足度は、99.5%であるとともに、全ての調査項目でにおいて、98%以上の高い評価となっている。この状況を維持するとともに、利用者の声を積極的に把握することで、更なるサービスの質の向上に努めること。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営において、主催事業を県内在住のアーティストやこれまでに出演、ワークショップ受講等経験のある者と連携することで、舞台芸術を気軽に体感出来る機会を提供するため、集客型から参加型への催し物の移行することにより、県民の文化に対する親しみやすさを創出し、長期的な視点での集客に寄与するきっかけづくりを行った。</p> <p>利用状況における利用者数は、コロナ禍、台風による催しの中止等により、目標値を下回った。</p> <p>利用状況における大・小ホールの稼働率は、コロナ禍、台風による催しの中止等の影響があったものの68.8%と、目標値の69.5%を若干下回る結果にとどまった。これは、リハーサルを数日間伴う催しが多かったことによる。</p> <p>収支状況は、助成金の増額等を図ったものの、コロナ禍、台風による催しの中止等の影響で施設利用料等収入が減少したことにより、収入総額が減少したこと、大きな赤字を計上し指定管理者が負担する状況になった。</p> <p>利用者満足度は、施設全体の満足度が、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて、99.5%と高い評価を得、「窓口」「サービス内容」については、100%を達成した。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>維持管理業務、運営業務等は、提案書、協定書、業務計画書等に基づき適正に執行され、施設全般の利用者満足度も99%を超える高い評価を得ている。</p> <p>主催事業では、年齢や障害の有無によらず幅広い県民が、演劇、音楽、ダンスなど様々な舞台芸術を気軽に体感出来る機会を提供するなど、県民の文化活動への参加意欲向上につなげる積極的な取り組みを実施していることは評価できる。</p> <p>今後も新型コロナウイルスの影響やガイドラインによる利用制限等が継続することによる大変厳しい状況が想定されるが、利用者ニーズの変化に対応し、施設の利用促進を目的とした、「新しい生活様式」に合った新たな事業展開等の提案につなげる取り組みに努められたい。</p> <p>利用者満足度は、全ての調査項目でにおいて、98%以上の高い評価となっており、この状況を維持するとともに、利用者の声を積極的に把握することで、更なるサービスの質の向上に努められたい。</p>	

<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>キャンセル等で空きが生じた施設について、県内の文化団体等に対し割引制とともにを周知し、利用を促した。</p> <p>指定管理者としてのノウハウを最大限に生かし、舞台の使い方、運営方法、チケットの販売方法など、利用者が企画の段階で抱く課題や不安を解決するため、『ホールアテンダント』業務をスタートさせ、チケット製作・販売、看板製作、ケータリング手配など、利用者の利便性を向上するサービスを安価で充実させ、高い評価を得るに至った。</p>
---------------------------------	--

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在

